直方体の格子展開図の重なり

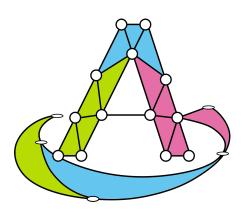
第193回 AL研究発表会

◎ 塩田 拓海(九州工業大学)

鎌田 斗南(北陸先端科学技術大学院大学)

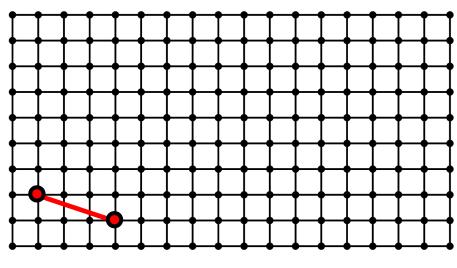
上原 隆平(北陸先端科学技術大学院大学)

2023年 5月 10日 (土) 15:45~16:10





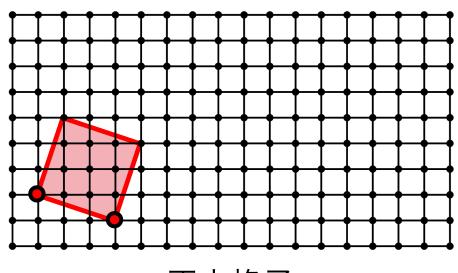
定義1



正方格子



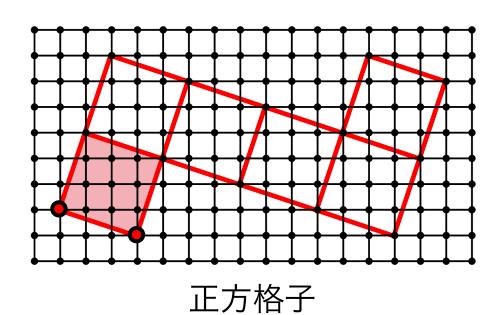
定義1



正方格子

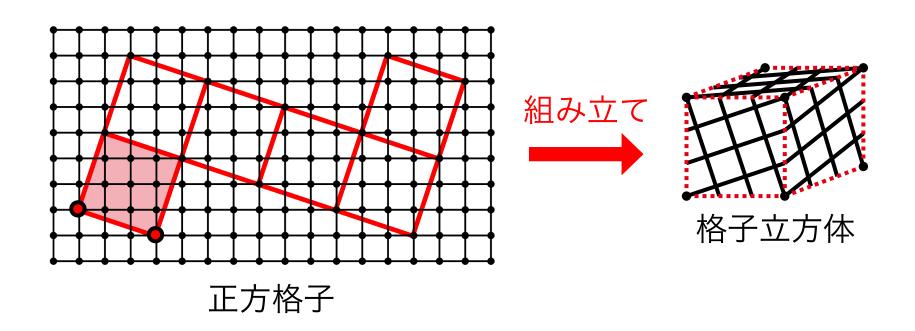


定義1





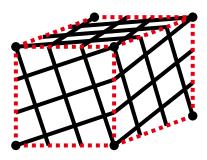
定義1





定義 2

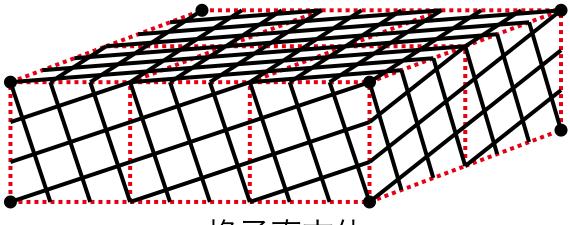
格子立方体を複数個つなぎ合わせることでできる直方体を 格子直方体という. (注:格子立方体 c 格子直方体)



格子立方体



複数個つなぎ合わせる

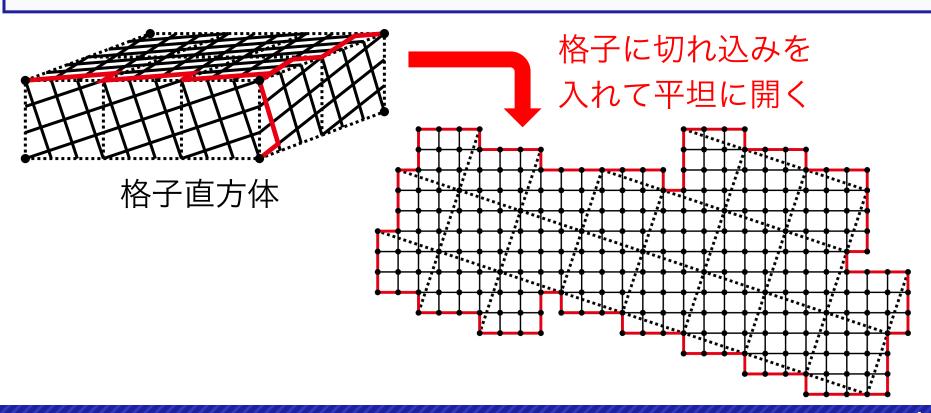


格子直方体



定義3

格子直方体の格子に切れ込みを入れて平坦に開いた多角形を格子展開図という。





定義3

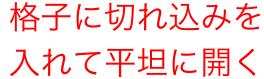
格子直方体の格子に切れ込みを入れて平坦に開いた多角形を 格子展開図という.

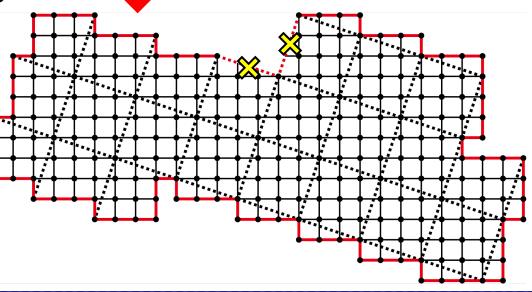


格子直方体

(注意)

点線 ----- は折り線 (点線は切らない)

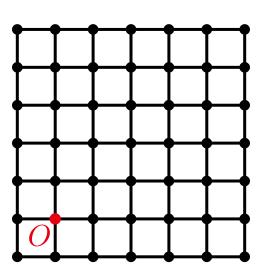






立方格子の1辺の長さを1とする

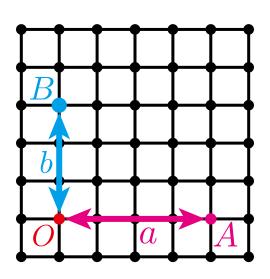
- ①正方格子上に原点 O(0,0) を決める
- ②点 A を (a, 0) 点 B を (0, b) とする (a ∈ N, b ∈ N⁺, a ≥ b)
- ③線分AB = $\sqrt{a^2 + b^2}$ を、格子立方体の1辺の長さ L とする





立方格子の1辺の長さを1とする

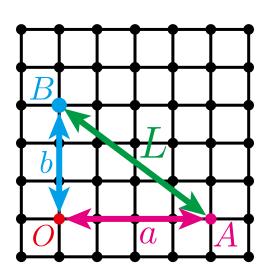
- ①正方格子上に原点 O(0,0) を決める
- ②点 A を (a,0) 点 B を (0,b) とする (a ∈ N, b ∈ N⁺, a ≥ b)
- ③線分AB = $\sqrt{a^2 + b^2}$ を、格子立方体の1辺の長さ L とする

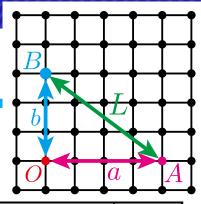




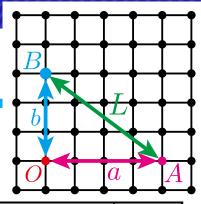
立方格子の1辺の長さを1とする

- ① 正方格子上に原点 O(0,0) を決める
- ②点 A を (a,0) 点 B を (0,b) とする (a ∈ N, b ∈ N⁺, a ≥ b)
- ③線分AB = $\sqrt{a^2 + b^2}$ を、格子立方体の1辺の長さ L とする

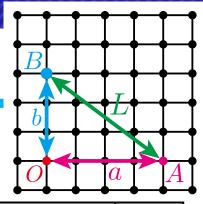




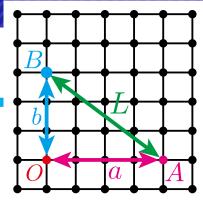
a の値	1	1	2	2	2	3	•••
b の値	0	1	0	1	2	0	•••
1辺の 長さ <i>L</i>	1	$\sqrt{2}$	2	$\sqrt{5}$	$2\sqrt{2}$	3	•••
正方形 L×L							•••
立方体 L×L×L							•••



a の値	1	1	2	2	2	3	•••
b の値	0	1	0	1	2	0	•••
1辺の 長さ <i>L</i>	1	$\sqrt{2}$	2	√5	$2\sqrt{2}$	3	•••
正方形 L×L							•••
立方体 L×L×L							•••



a の値	1	1	2	2	2	3	• • •
b の値	0	1	0	1	2	0	•••
1辺の 長さ <i>L</i>	1	$\sqrt{2}$	2	$\sqrt{5}$	$2\sqrt{2}$	3	•••
正方形 L×L							•••
立方体 L×L×L							•••



a の値	1	1	2	2	2	3	•••
b の値	0	1	0	1	2	0	•••
1辺の	1	$\sqrt{2}$	2	$\sqrt{5}$	$2\sqrt{2}$	3	•••
長さ L	1	V Z	<i>L</i>	V J	2 V 2	3	
正方形							
$L \times L$							•••
立方体							•••
$L \times L \times L$		¥ - ¥ -		* 1.34°	*A*		

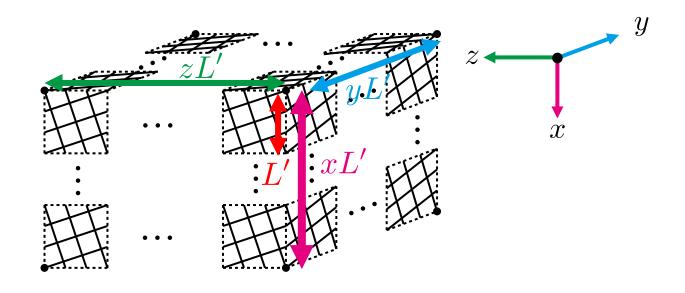
格子直方体の3辺の長さ



格子立方体の1辺の長さを L' とする

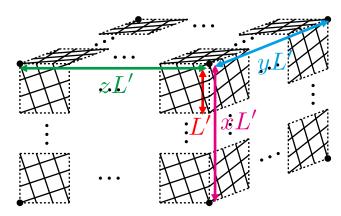
$$L' = \sqrt{a^2 + b^2} \ (a \in \mathbb{N}^+, b \in \mathbb{N}, a \ge b, \gcd(a, b) = 1)$$

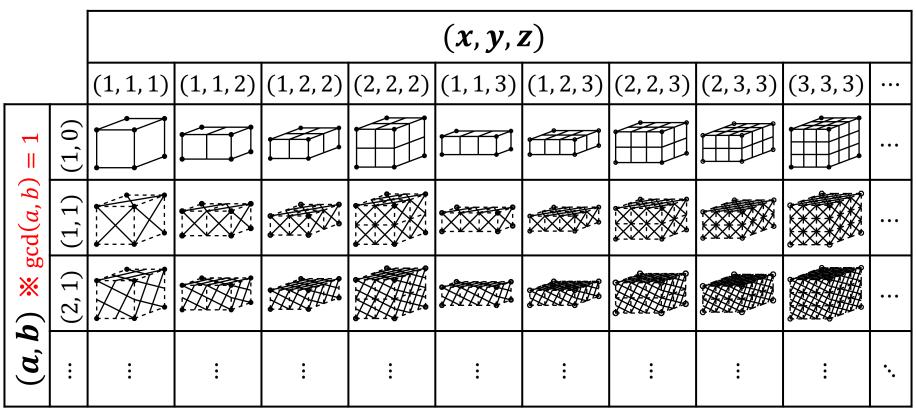
格子直方体を $xL' \times yL' \times zL'$ $(x, y, z \in \mathbb{N}, x \leq y \leq z)$ で表記



格子直方体の3辺の長さ

格子直方体の一覧





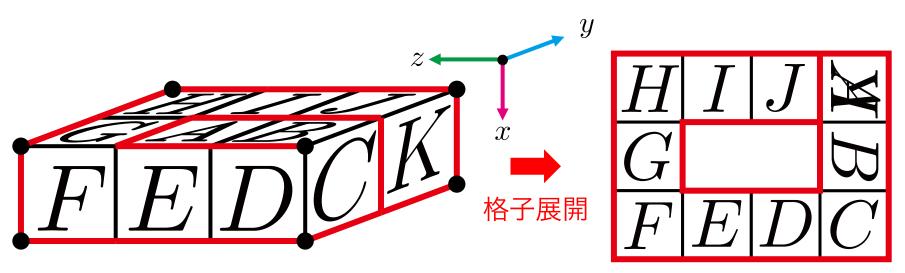
格子展開図の重なり



定理 1 [R. Uehara, 2008]

サイズ 1×2×3 の格子直方体には,面接触展開図が存在する. また,辺接触展開図および頂点接触展開図が存在する.

1×2×3の格子直方体を赤色の太線に沿って切り開くと…



①面接触展開図

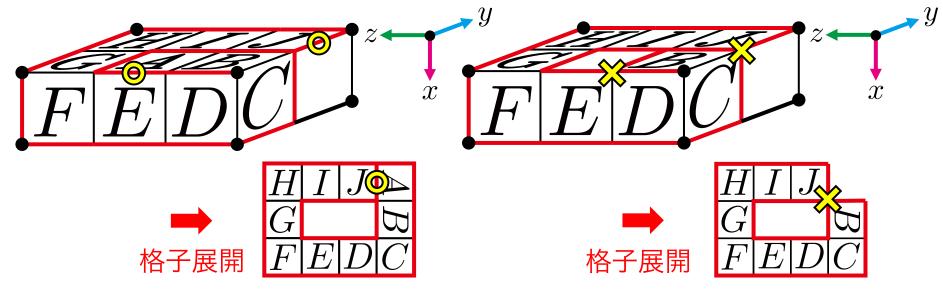
格子展開図の重なり



定理 1 [R. Uehara, 2008]

サイズ 1×2×3 の格子直方体には,面接触展開図が存在する. また,辺接触展開図および頂点接触展開図が存在する.

1×2×3の格子直方体を赤色の太線に沿って切り開くと…



②辺接触展開図

③頂点接触展開図

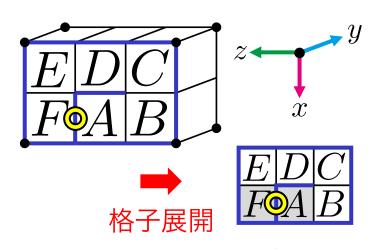
格子展開図の重なり



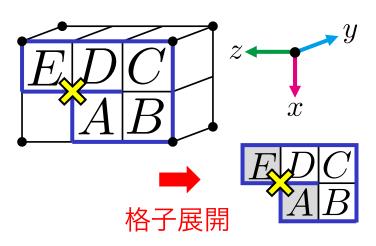
定理 1 [R. Uehara, 2008]

サイズ 1×2×3 の格子直方体には、面接触展開図が存在する。 また、辺接触展開図および頂点接触展開図が存在する。

【注意】元の直方体において,辺・頂点が一致しているとき 「辺接触」「頂点接触」と言わない



辺接触展開図では無い例



頂点接触展開図では無い例

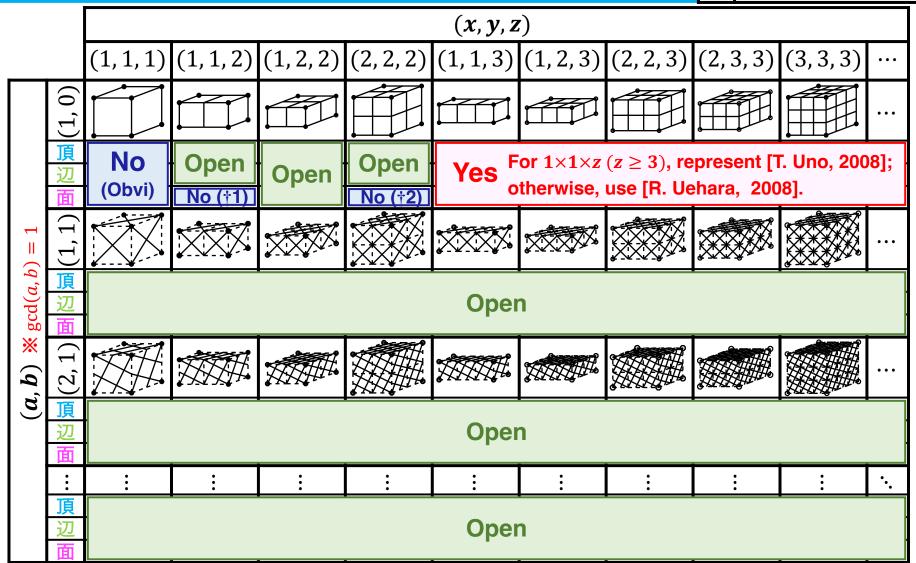
†1: [R. Hearn, 2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

面 面接触展開図



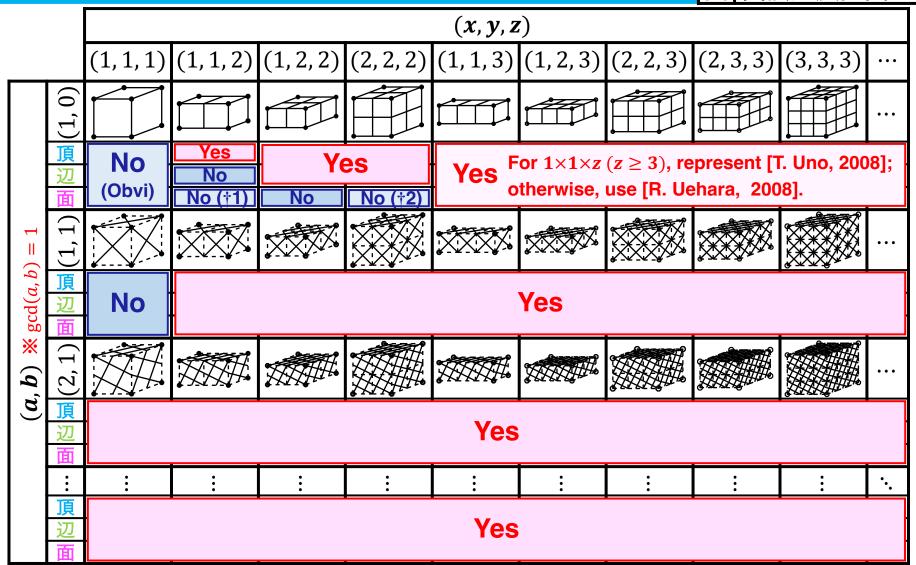
†1: [R. Hearn, 2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

面 面接触展開図



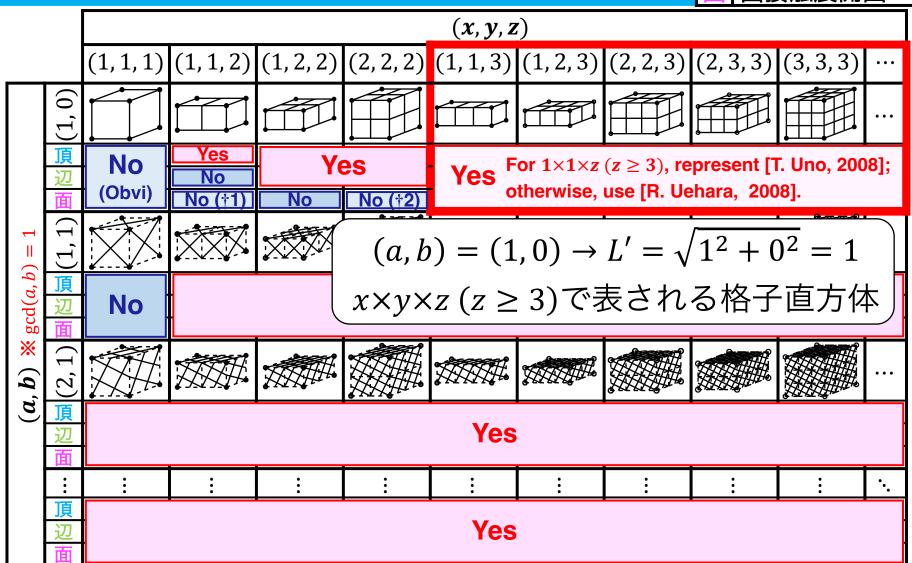
†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺接触展開図

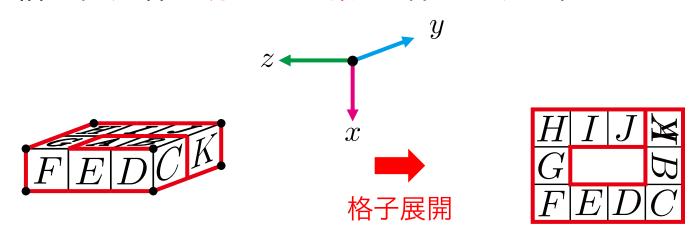
面 | 面接触展開図





定理 2 [R. Uehara, 2008]

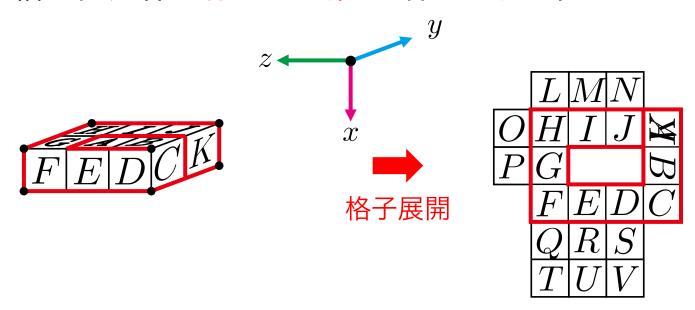
サイズ $x \times y \times z$ ($y \ge 2$, $z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 2 [R. Uehara, 2008]

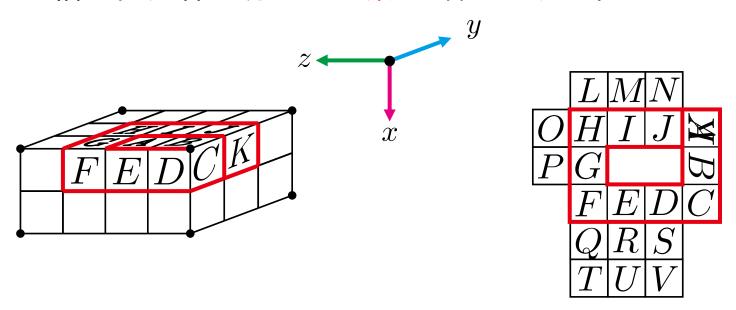
サイズ $x \times y \times z$ ($y \ge 2$, $z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 2 [R. Uehara, 2008]

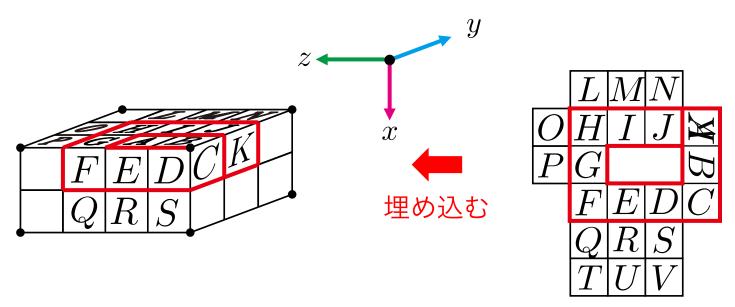
サイズ $x \times y \times z$ ($y \ge 2$, $z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 2 [R. Uehara, 2008]

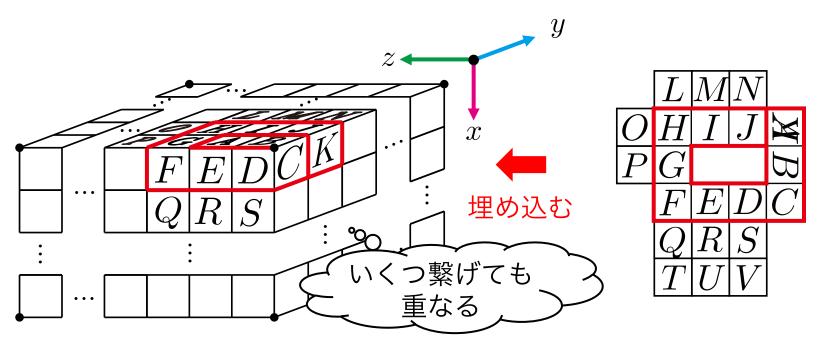
サイズ $x \times y \times z$ ($y \ge 2$, $z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 2 [R. Uehara, 2008]

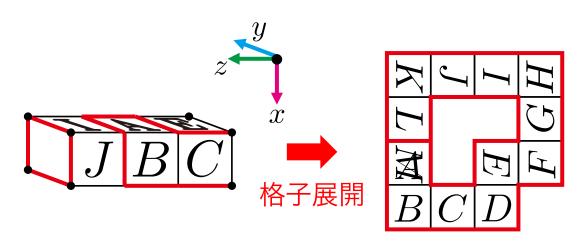
サイズ $x \times y \times z$ ($y \ge 2$, $z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 3 [T. Uno, 2008]

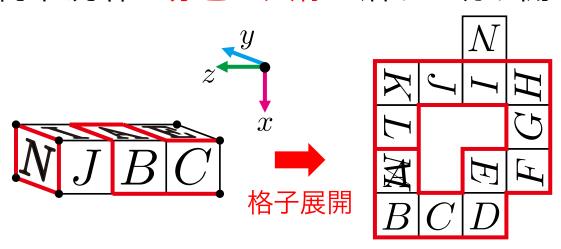
サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.





定理 3 [T. Uno, 2008]

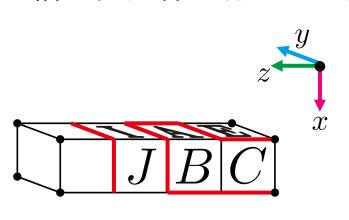
サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。

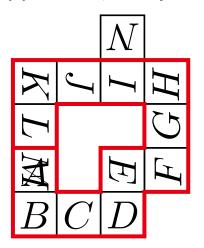




定理 3 [T. Uno, 2008]

サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。

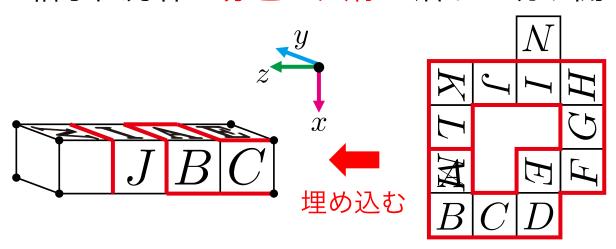






定理 3 [T. Uno, 2008]

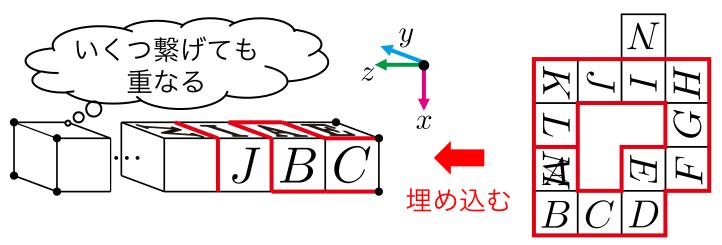
サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。





定理 3 [T. Uno, 2008]

サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。

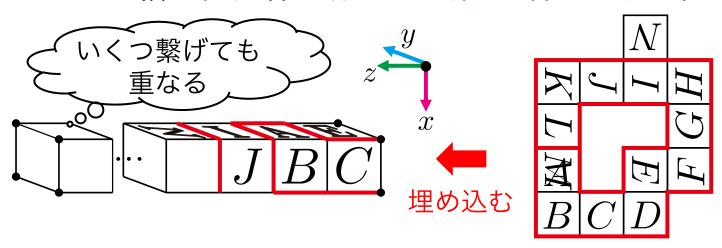




定理 3 [T. Uno, 2008]

サイズ $x \times y \times z$ ($z \ge 3$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する。また,辺/頂点接触展開図が存在する。

1×1×3の格子直方体を赤色の太線に沿って切り開くと…



小さいユニットで重なりを持つことが言えると 拡張しても重なることが言える.

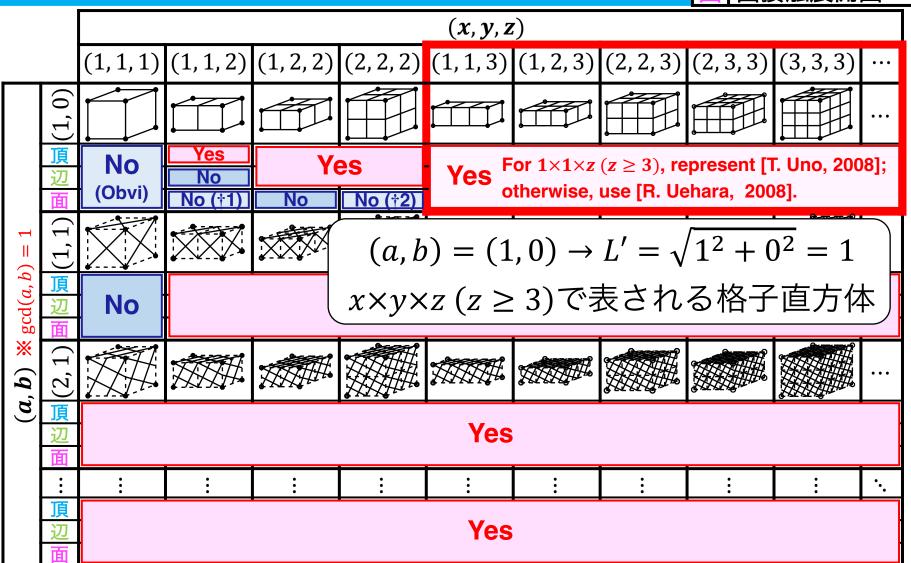
†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺接触展開図

面 面接触展開図



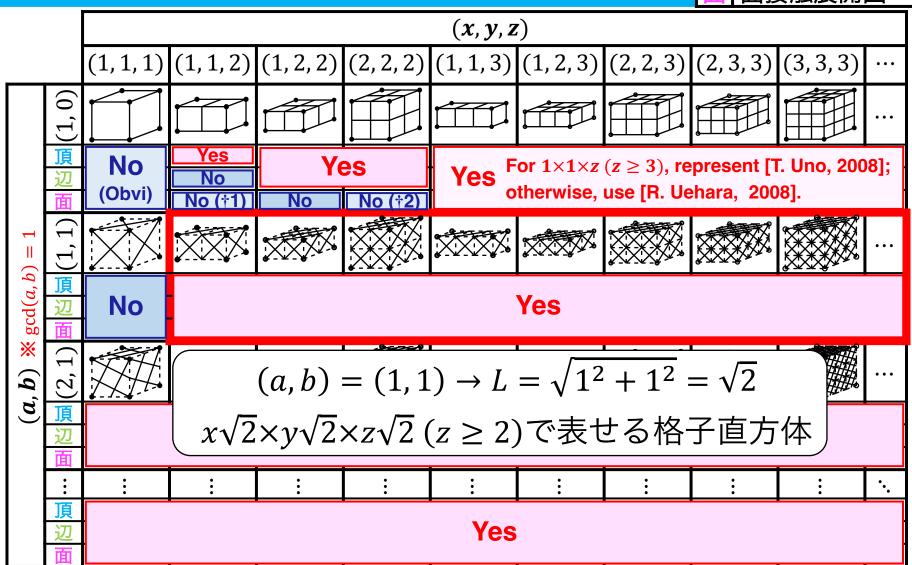
†1: [R. Hearn, 2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

面 面接触展開図

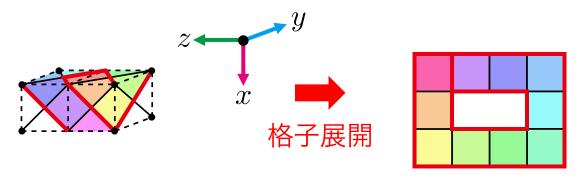




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

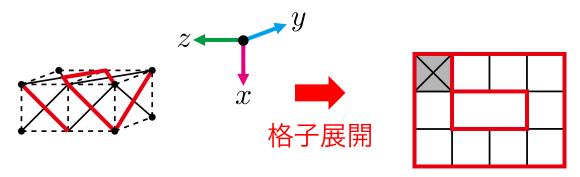




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

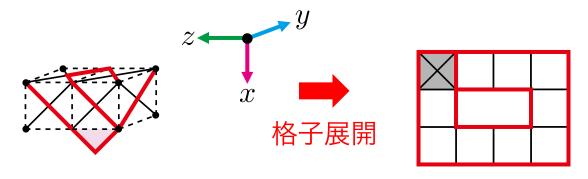




補題 1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

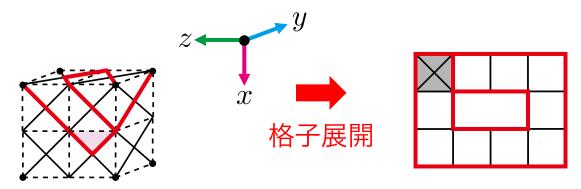




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

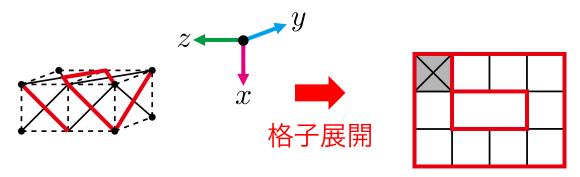




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

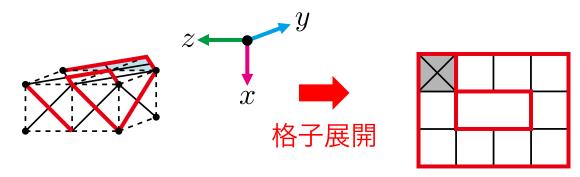




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

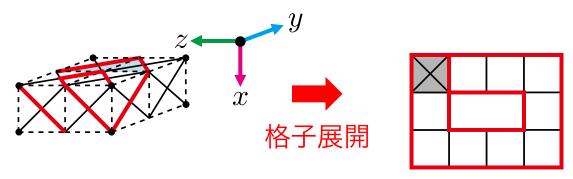




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

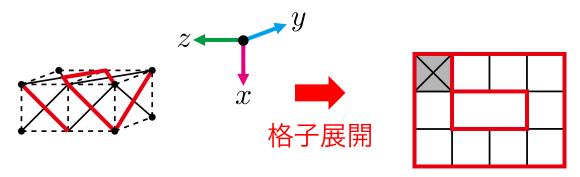




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

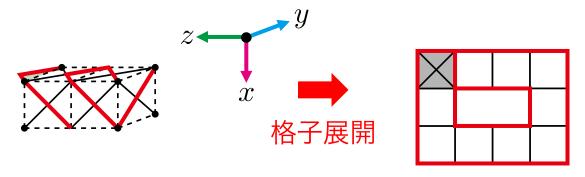




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

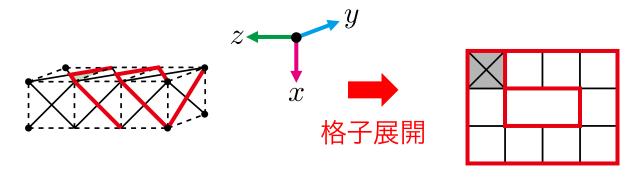




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

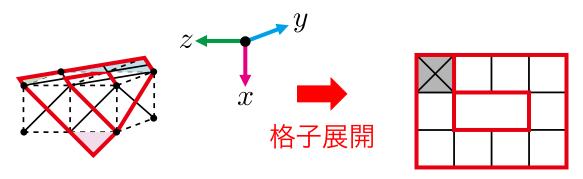




補題1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

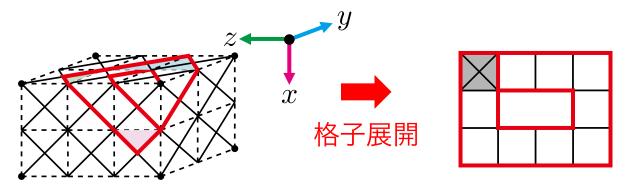




補題 1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい

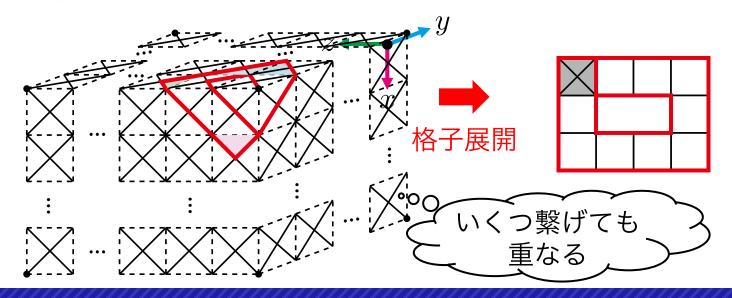




補題 1

サイズ $x\sqrt{2}\times y\sqrt{2}\times z\sqrt{2}$ ($z\geq 2$) の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

【証明】 サンプルをご覧下さい



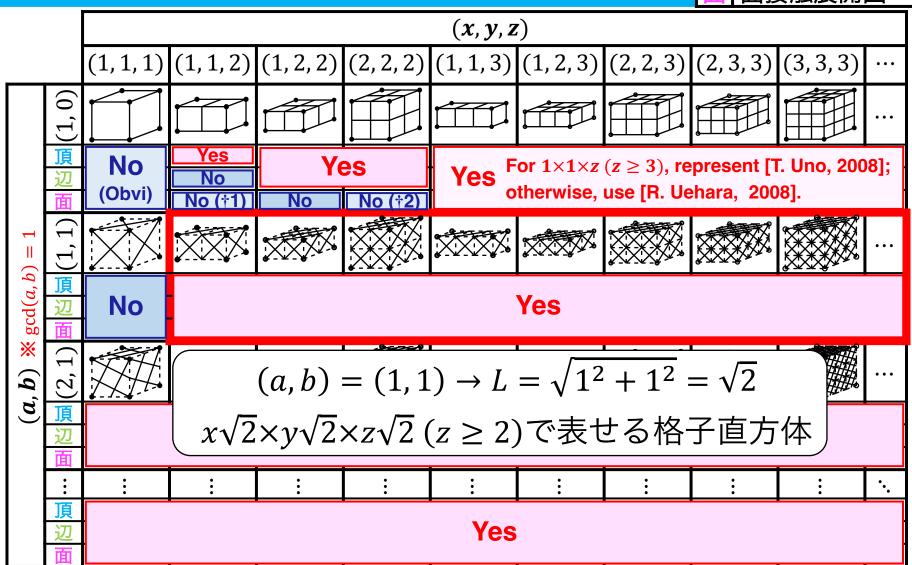
†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺接触展開図

<u>面</u>|面接触展開図



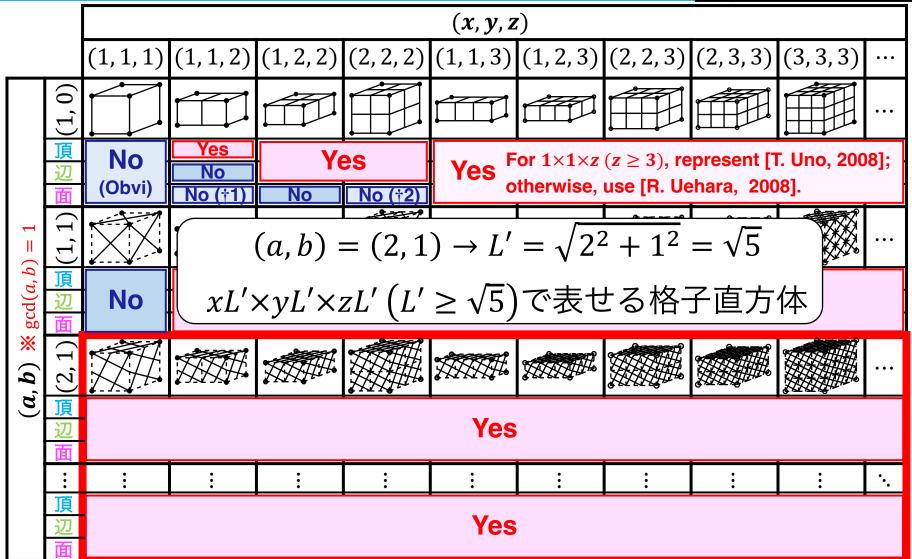
†1: [R. Hearn,2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

<u>面</u> 面接触展開図



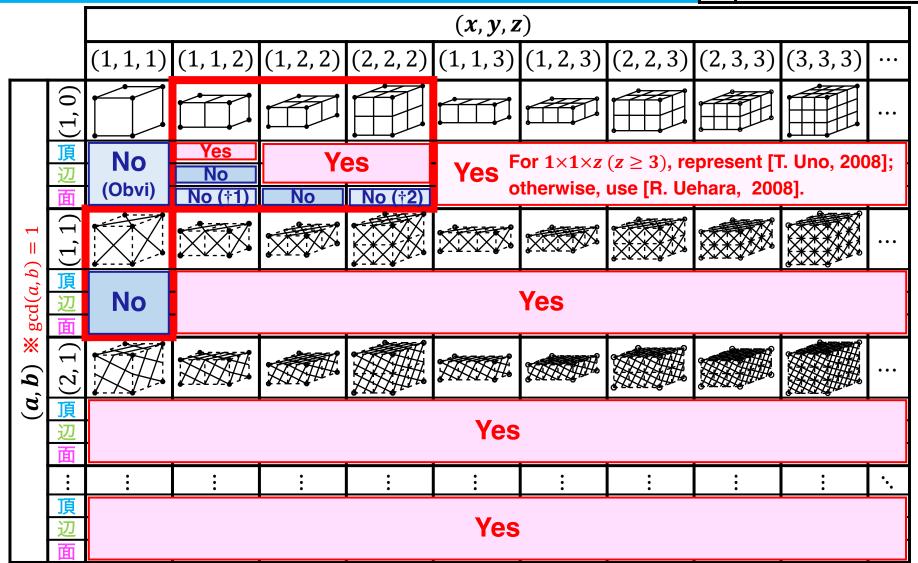
†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺接触展開図

面面接触展開図



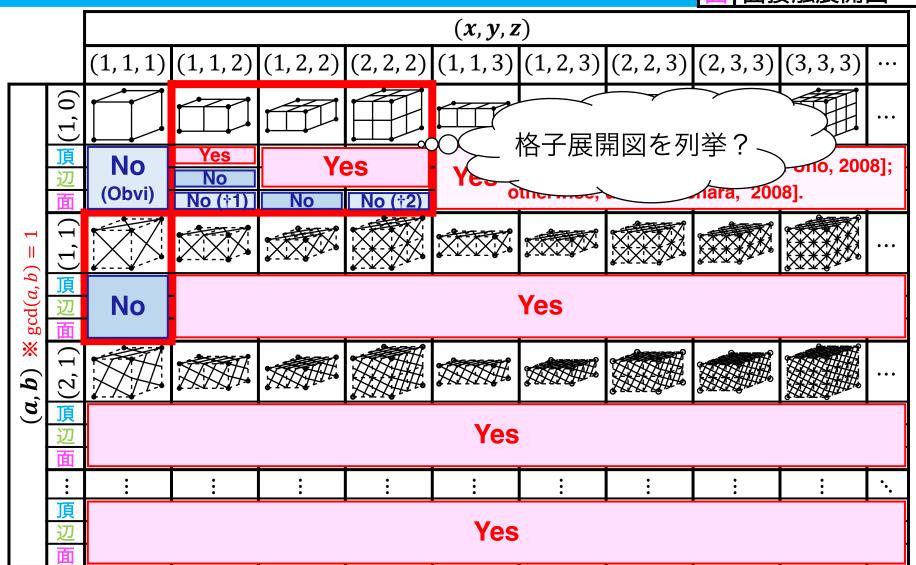
†1: [R. Hearn,2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

面 面接触展開図



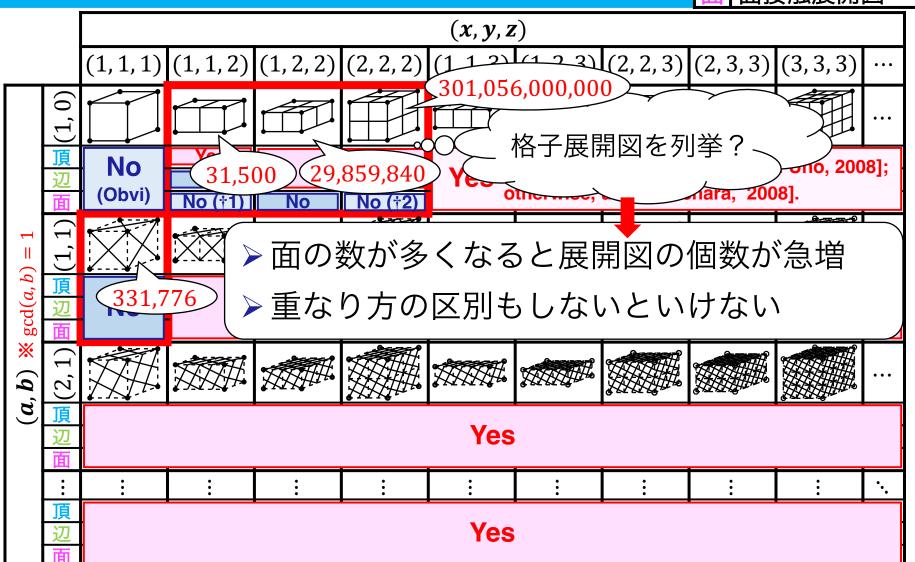
†1 : [R. Hearn,2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頁 頂点接触展開図

辺接触展開図

面接触展開図



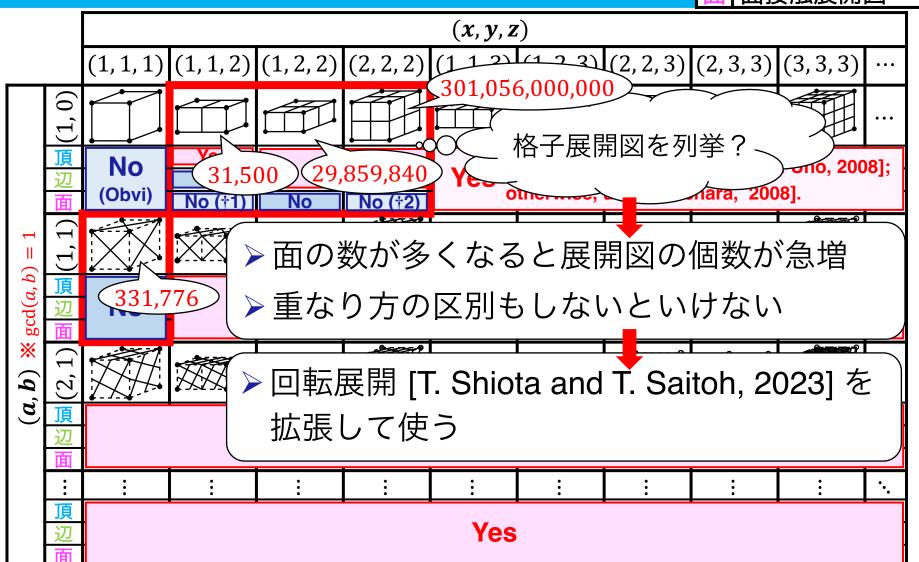
†1 : [R. Hearn,2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頁 頂点接触展開図

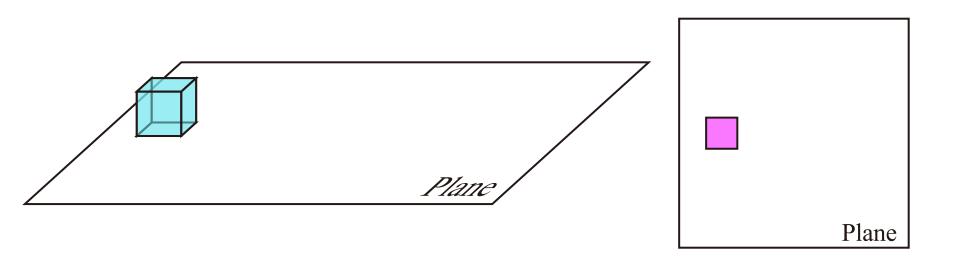
辺接触展開図

亩 面接触展開図



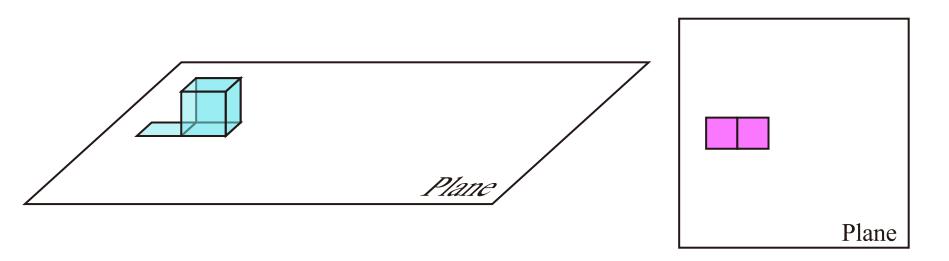


- 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する。
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.



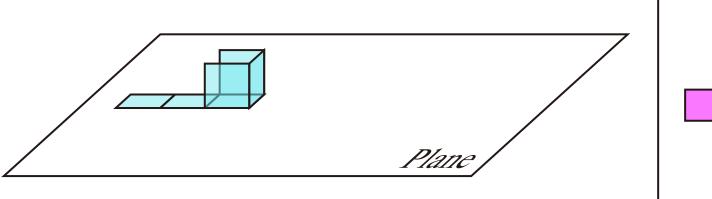


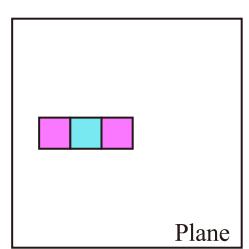
- 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する。
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.





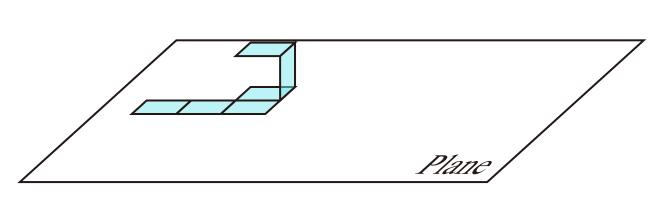
- 1. 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する.
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.

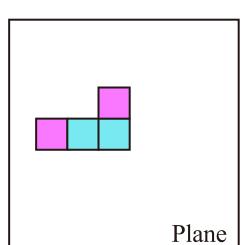






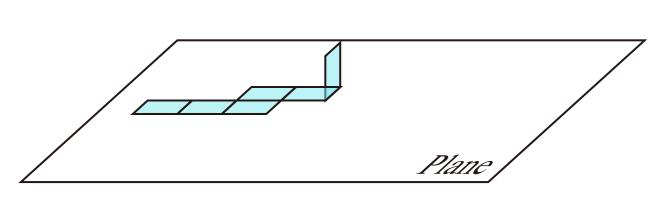
- 1. 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する.
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.

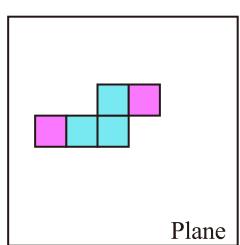






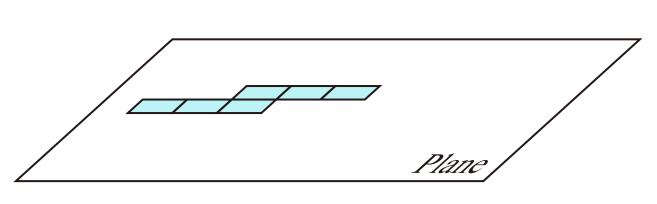
- 1. 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する.
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.

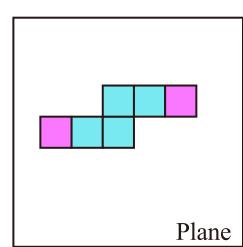






- 1. 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する.
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.

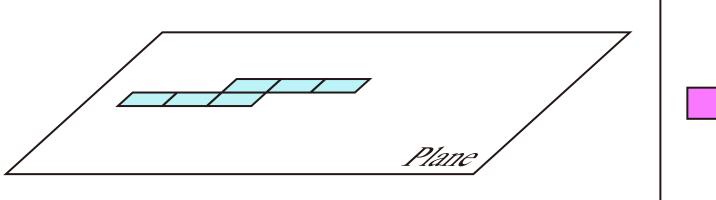


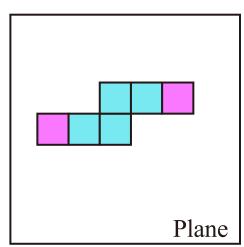




回転展開 [T. Shiota and T. Saitoh, 2023]

- 1. 多面体をコロコロと転がすことで、任意の二面間のパスを 列挙する.
- 2. パスの両端に位置する面どうしの重なりを確認する.



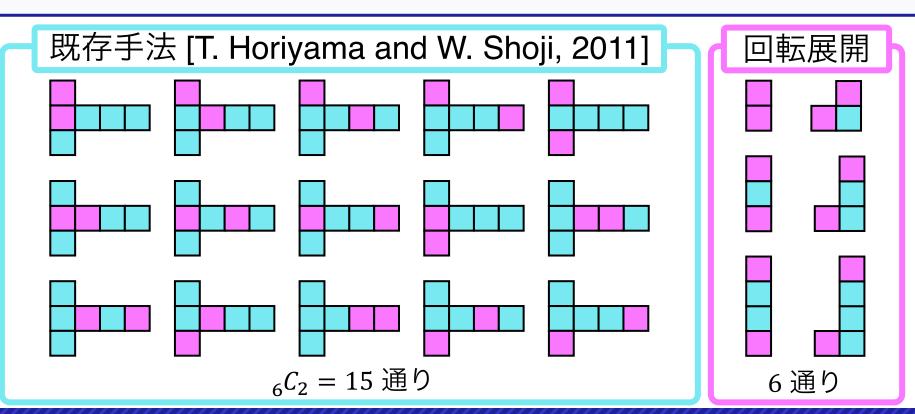


Q. なぜパスの両端に位置する面の重なりだけでよい?



補題 2

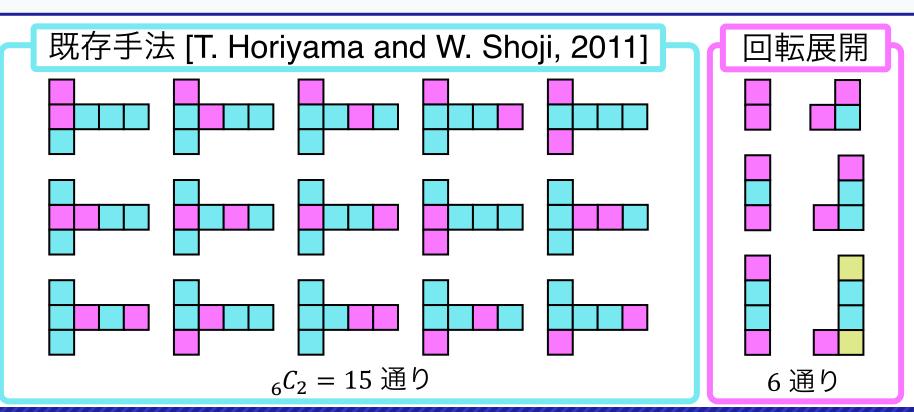
辺展開図のある2面を結ぶパスは,回転展開で列挙されたいずれかのパスに該当する.





補題 2

辺展開図のある2面を結ぶパスは,回転展開で列挙されたいずれかのパスに該当する.

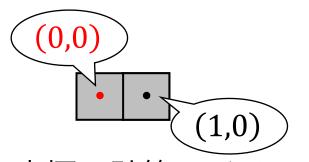




回転展開では、転がす度に重なりがあるかを判定

- ightharpoonup パスの片方の端点の面の中心座標を (x,y) = (0,0)
- ▶ 転がしながら逐次、もう一方の端点の中心座標を計算

【メモ】正方形の1辺の長さは1

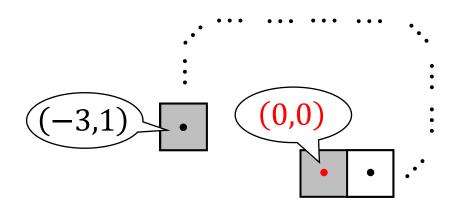




回転展開では、転がす度に重なりがあるかを判定

- ightharpoonup パスの片方の端点の面の中心座標を (x,y) = (0,0)
- ▶ 転がしながら逐次、もう一方の端点の中心座標を計算

【メモ】正方形の1辺の長さは1

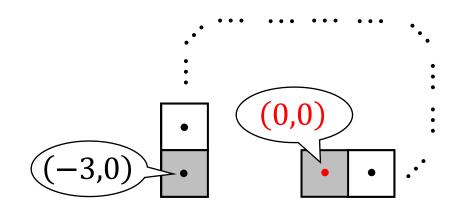




回転展開では、転がす度に重なりがあるかを判定

- ightharpoonup パスの片方の端点の面の中心座標を (x,y) = (0,0)
- ▶ 転がしながら逐次、もう一方の端点の中心座標を計算

【メモ】正方形の1辺の長さは1

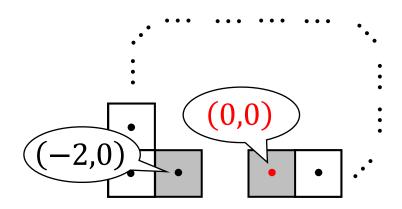




回転展開では、転がす度に重なりがあるかを判定

- ightharpoonup パスの片方の端点の面の中心座標を (x,y) = (0,0)
- ▶ 転がしながら逐次、もう一方の端点の中心座標を計算

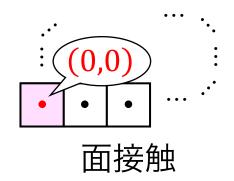
【メモ】正方形の1辺の長さは1

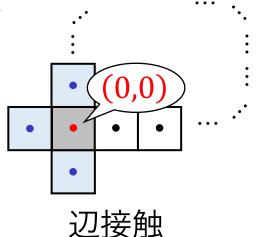




パスの、もう一方の端点の面の中心座標が…

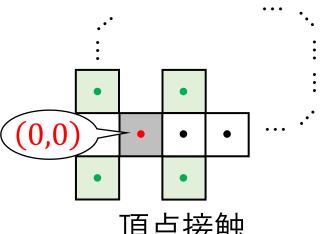
- (0,0)
 - → 面接触展開図





- (0,1), (-1,0), (0,-1)
 - → 辺接触展開図

- \blacksquare (1,1), (1, -1), (-1, -1), (-1,1)
 - → 頂点接触展開図

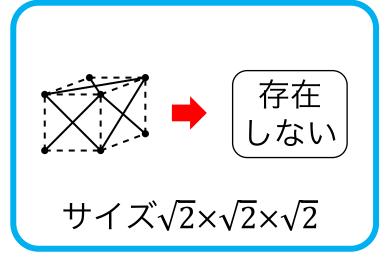


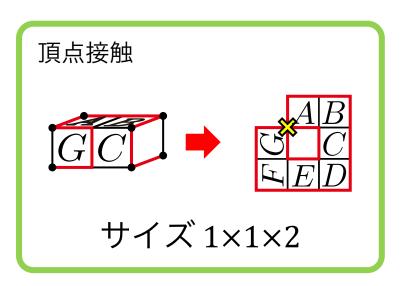
$\sqrt{2} \times \sqrt{2} \times \sqrt{2}$, $x \times y \times z$ (z = 2) の重なり



補題 3

- 1. サイズ $\sqrt{2}\times\sqrt{2}\times\sqrt{2}$ の格子立方体には,面/辺/頂点接触展開図がいずれも存在しない。
- 2. サイズ 1×1×2 の格子直方体には,面/辺接触展開図が存在しないが、頂点接触展開図が存在する.



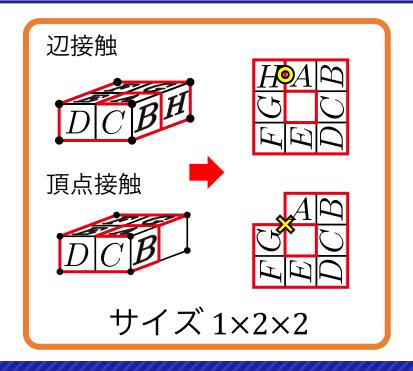


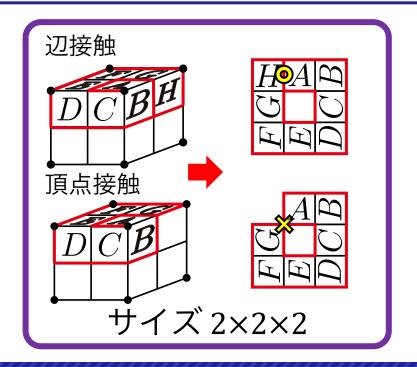
$\sqrt{2}$ × $\sqrt{2}$ × $\sqrt{2}$, x×y×z (z = 2) の重なり



補題 3 (続き)

3. サイズ 1×2×2 の格子直方体, サイズ 2×2×2 の格子立方体 には, 面接触展開図が存在しないが, 辺/頂点接触展開図 が存在する.





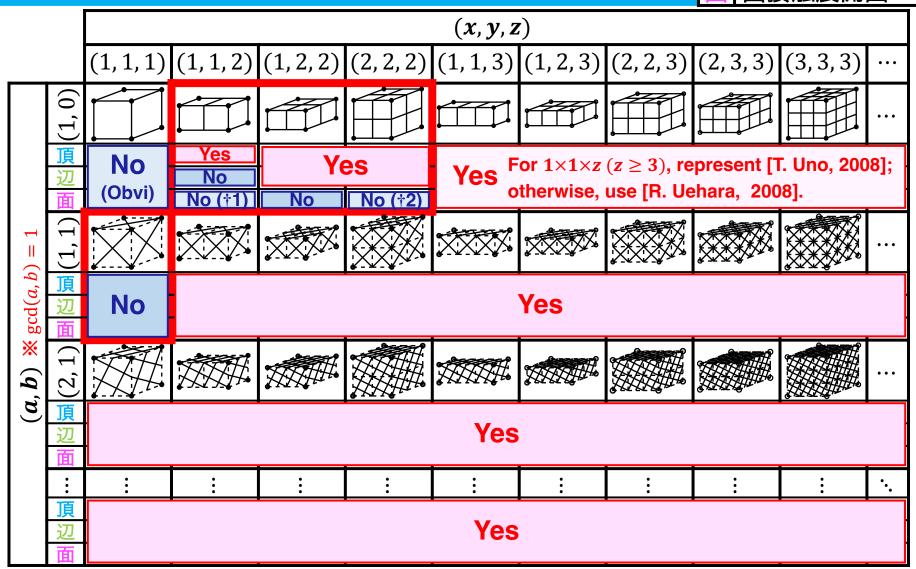
†1: [R. Hearn, 2018]

†2 : [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

辺 辺接触展開図

面 面接触展開図



先行研究と主結果

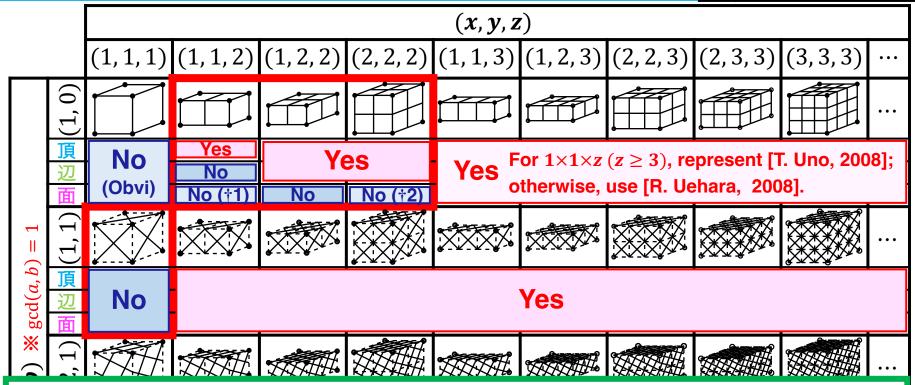
†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

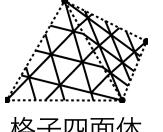
辺接触展開図

面接触展開図



今後の課題

三角格子から作ることができるデルタ多面体に おける重なりの存在性を明らかにする.

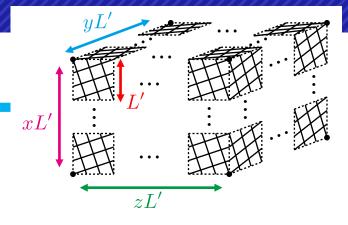


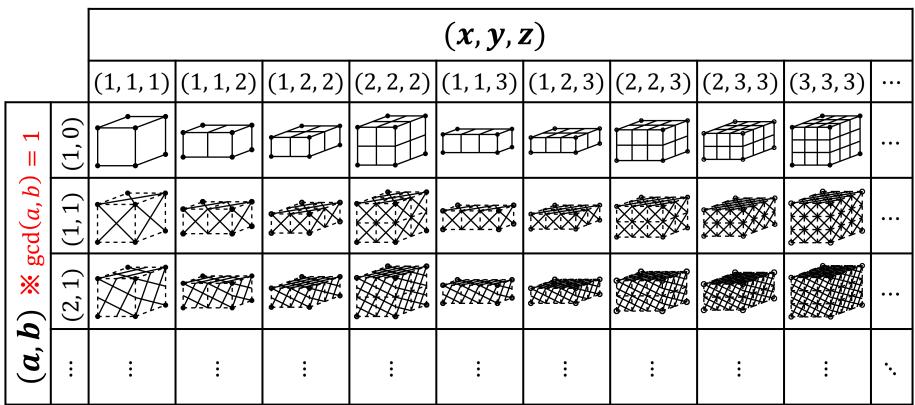
格子四面体

補足スライド

gcd(a, b) = 1 の説明

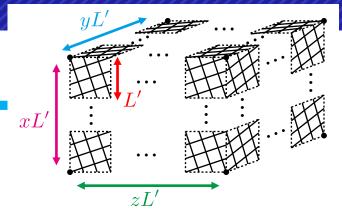
格子直方体の一覧

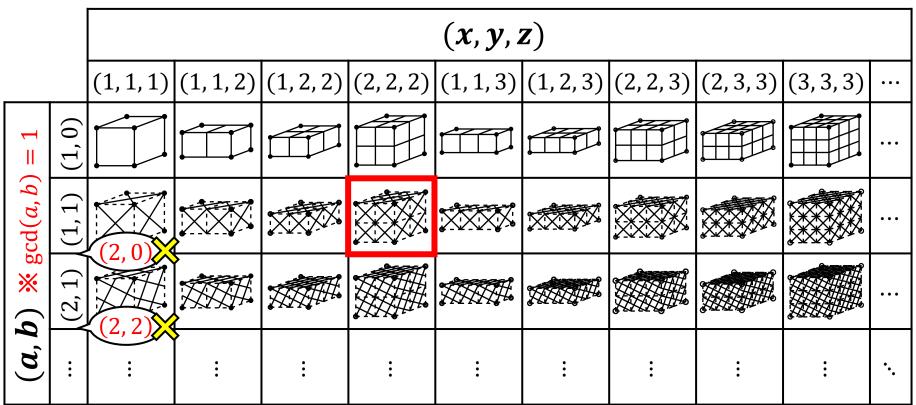




gcd(a, b) = 1 の説明

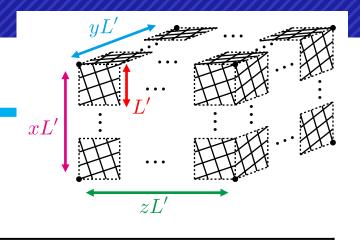
格子直方体の一覧





gcd(a, b) = 1 の説明

格子直方体の一覧



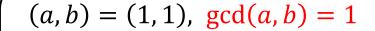
(x, y, z)

$$(a,b) = (2,2), \gcd(a,b) = 2$$

$$\rightarrow L' = \sqrt{2^2 + 2^2} = 2\sqrt{2}$$

$$(x, y, z) = (1, 1, 1)$$

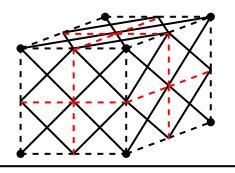
$$\rightarrow 2\sqrt{2}\times2\sqrt{2}\times2\sqrt{2}$$
 の格子直方体



$$\rightarrow L' = \sqrt{1^2 + 1^2} = \sqrt{2}$$

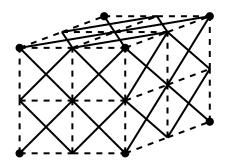
$$(x, y, z) = (2, 2, 2)$$

$$\rightarrow 2\sqrt{2}\times2\sqrt{2}\times2\sqrt{2}$$
 の格子直方体



同じ直方体





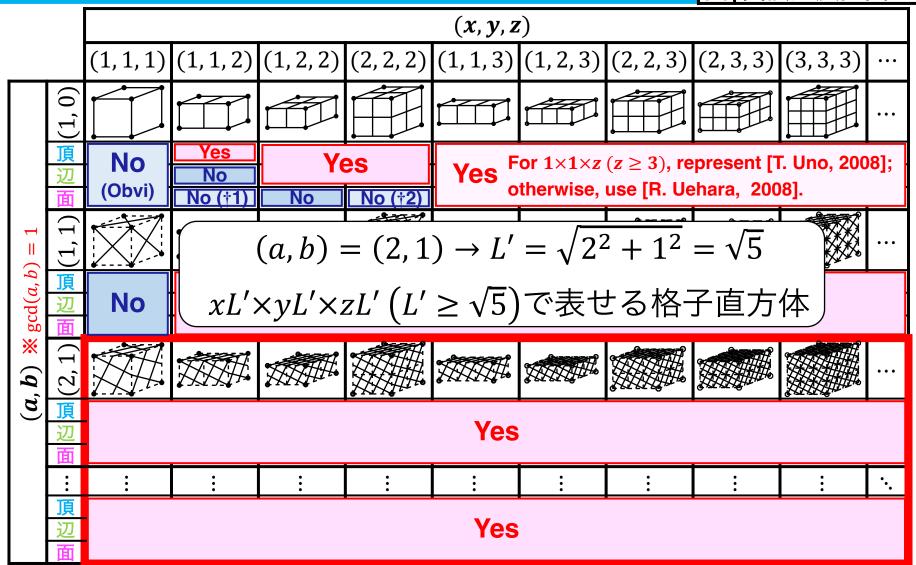
先行研究と主結果

†1: [R. Hearn, 2018]

†2: [H. Sugiura,2018]

頂点接触展開図

面 面接触展開図



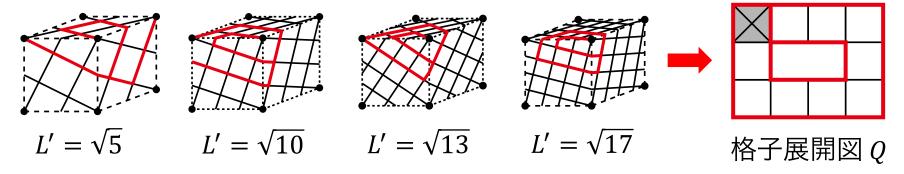
$xL' \times yL' \times zL' \left(L' \geq \sqrt{5} \right)$ の重なり



補題 3

サイズ $xL' \times yL' \times zL'$ $(L' \ge \sqrt{5})$ の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{5})$ の格子立方体を観察すると…



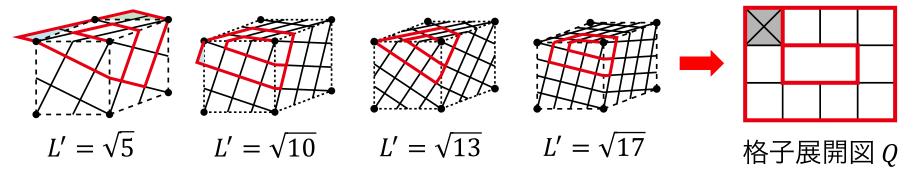
$xL' \times yL' \times zL' (L' \ge \sqrt{5})$ の重なり



補題 3

サイズ $xL' \times yL' \times zL'$ $(L' \ge \sqrt{5})$ の格子直方体には,面接触展開図が存在する.また,辺/頂点接触展開図が存在する.

 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{5})$ の格子立方体を観察すると…



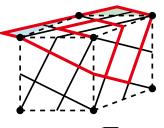
$xL' \times yL' \times zL' (L' \ge \sqrt{5})$ の重なり



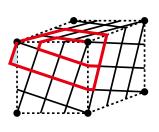
補題3

サイズ $xL' \times yL' \times zL' (L' \ge \sqrt{5})$ の格子直方体には,面接触展 開図が存在する. また, 辺/頂点接触展開図が存在する.

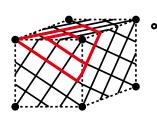
 $L' \times L' \times L'$ ($L' \ge \sqrt{5}$)の格子立方体 手前3面で完結

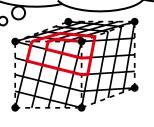


 $L' = \sqrt{5}$

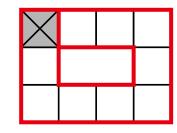


 $L' = \sqrt{10}$





 $L' = \sqrt{13}$ $L' = \sqrt{17}$



格子展開図 Q

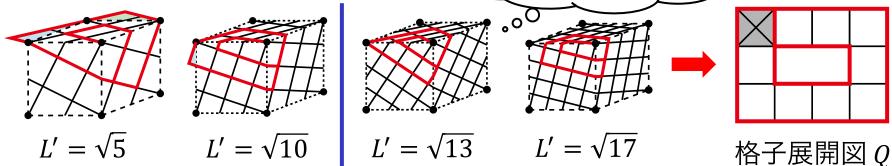
$xL' \times yL' \times zL' (L' \geq \sqrt{5})$ の重なり



補題 3

サイズ $xL' \times yL' \times zL'$ $(L' \ge \sqrt{5})$ の格子直方体には、面接触展開図が存在する。また、辺/頂点接触展開図が存在する。

 $L' \times L' \times L'$ ($L' \ge \sqrt{5}$)の格子立方体 手前3面で完結っ



補題 4

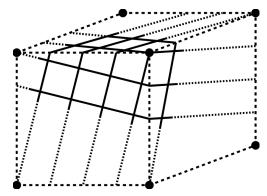
格子展開図 Q は、 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前3面に埋め込むことができる。



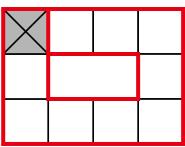
補題 4

格子展開図 Q は, $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前 3面に埋め込むことができる.

【証明】



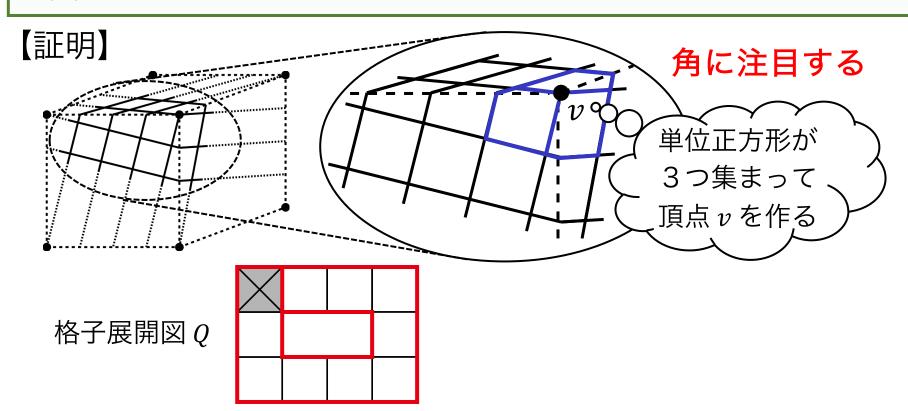
格子展開図 Q





補題 4

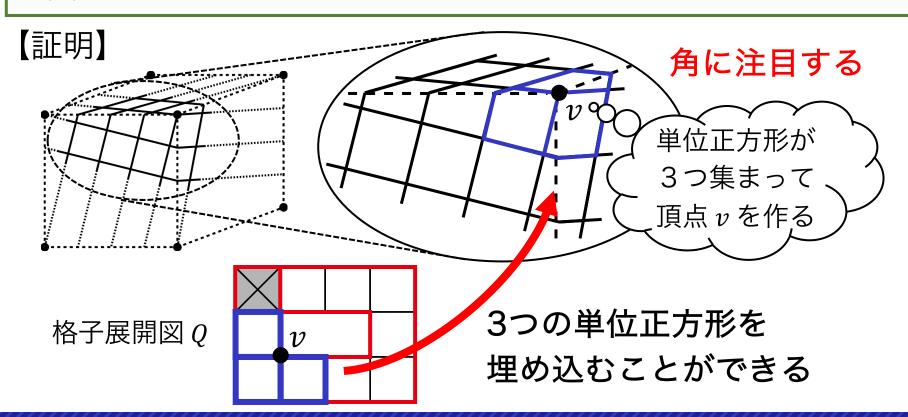
格子展開図 Q は、 $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前3面に埋め込むことができる。



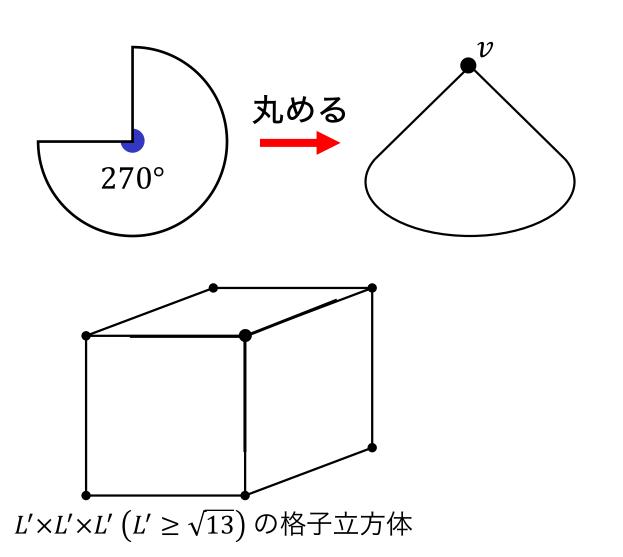


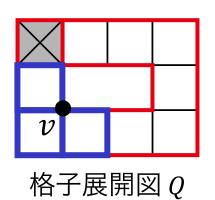
補題 4

格子展開図 Q は, $L' \times L' \times L' (L' \ge \sqrt{13})$ の格子立方体の手前3面に埋め込むことができる.

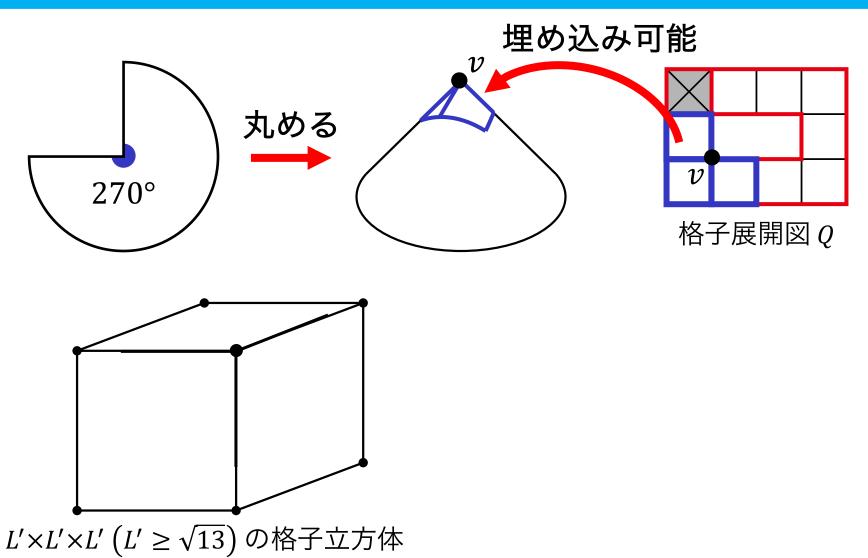




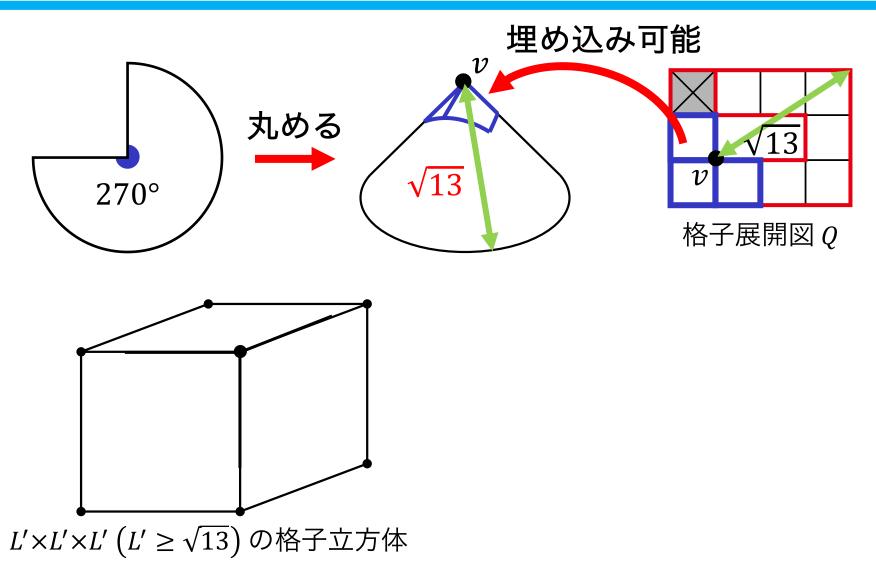




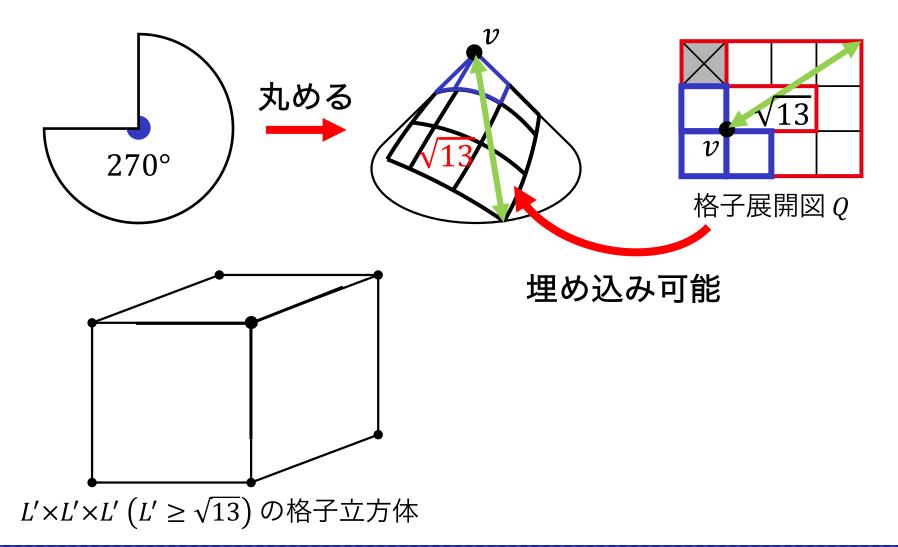




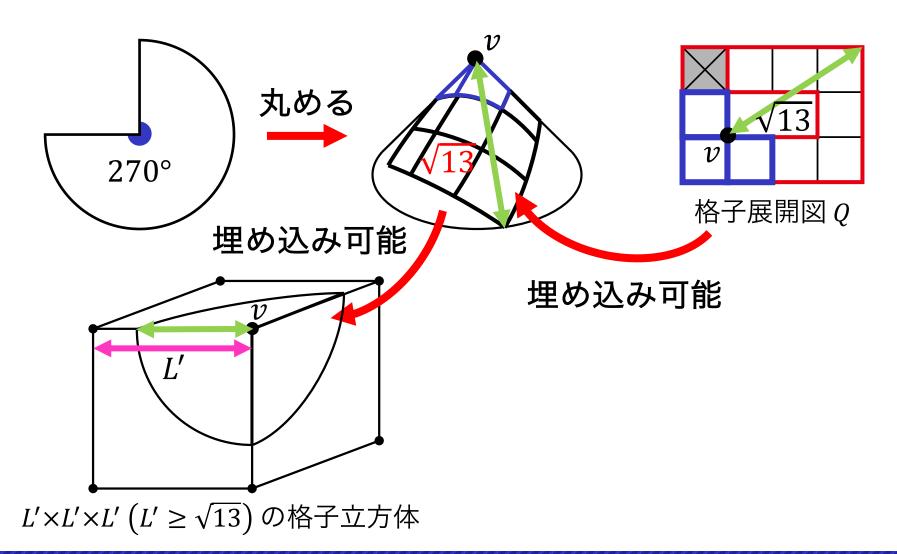




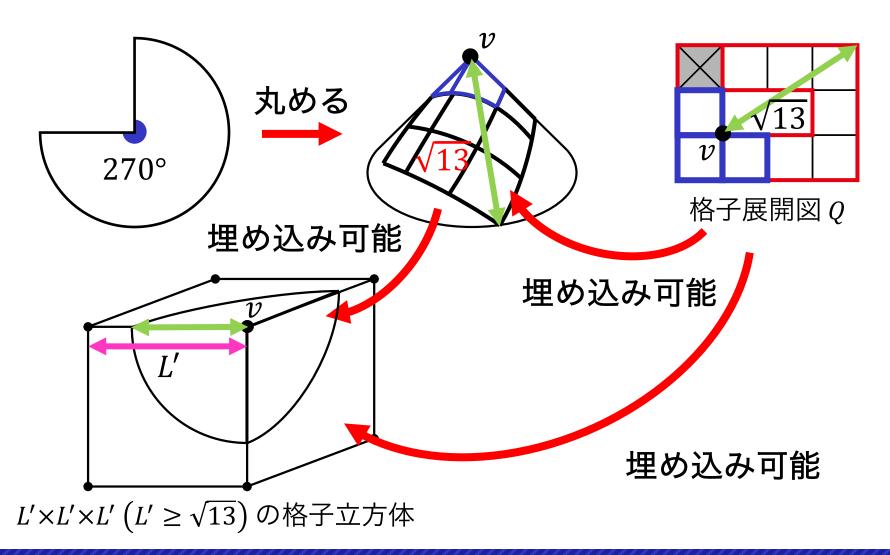








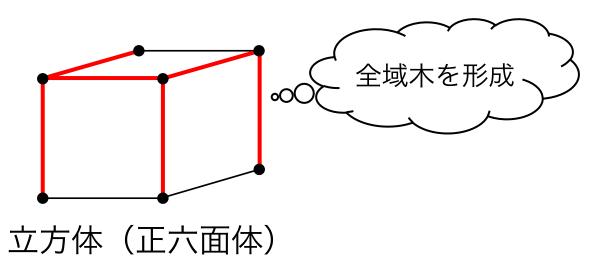






従来の回転展開は…

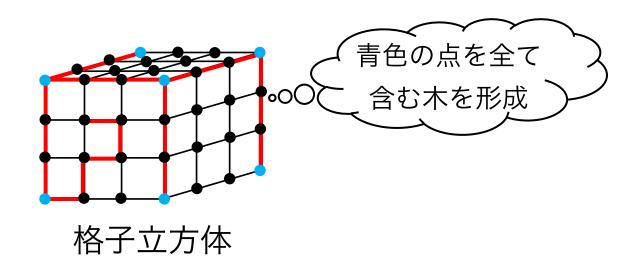
- ▶ 多面体の辺に沿って切れ込みを入れることで得られる 辺展開図に対して使うものである
 - → 平坦に開くことができないため、各頂点に対して、 いずれかの方向か必ず切れ込みを入れる





格子立方体では…

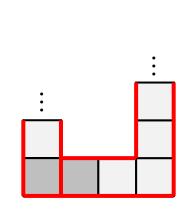
- ▶ 全ての格子上の点について、必ずしもいずれかの方向に切れ込みを入れる必要はない
 - ※ 立方体の頂点に位置する点には必ず切れ込みを入れる

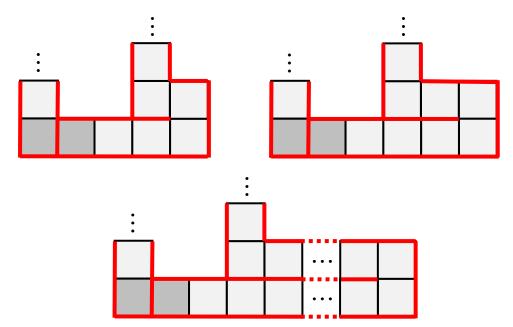




問題点

▶ 列挙したパスの中に、重なりを確認する上で不要なパスが 含まれてしまう





求めたいパス

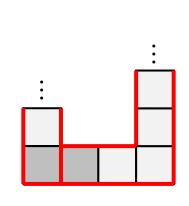
探索が不要なパス

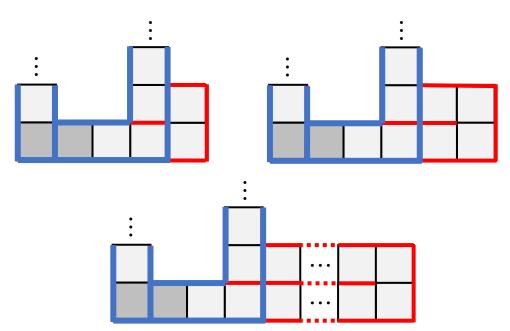


問題点

▶ 列挙したパスの中に、重なりを確認する上で不要なパスが のまれる。

含まれてしまう





求めたいパス

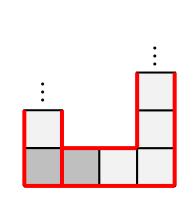
探索が不要なパス

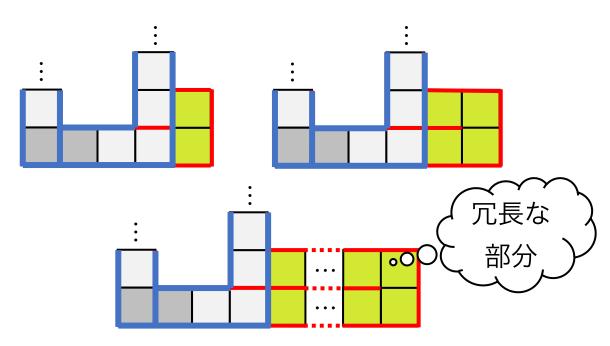


問題点

▶ 列挙したパスの中に、重なりを確認する上で不要なパスが

含まれてしまう





求めたいパス

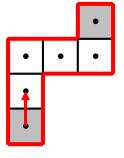
探索が不要なパス



- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L



- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L



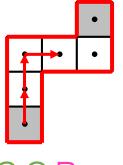


- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L



▶「1ステップ前から見たときの転がす方向」の情報を 回転展開に追加

- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

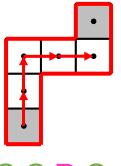


CCR



▶「1ステップ前から見たときの転がす方向」の情報を 回転展開に追加

- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

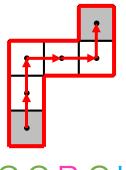


CCRC



▶「1ステップ前から見たときの転がす方向」の情報を 回転展開に追加

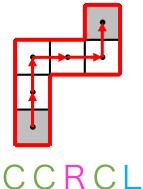
- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

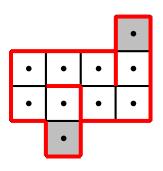


CCRCL



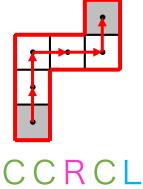
- 「1ステップ前から見たときの転がす方向」の情報を 回転展開に追加
 - ✓ 真っ直ぐに転がす → C
 - ✓ 右向きに転がす → R
 - ✓ 左向きに転がす→ L

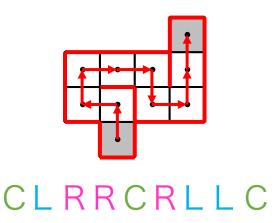






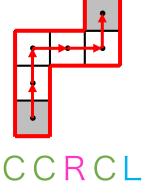
- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

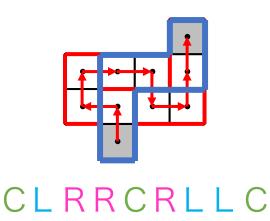






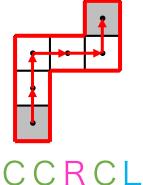
- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

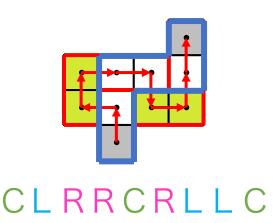






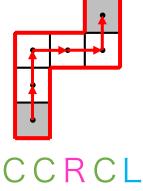
- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L

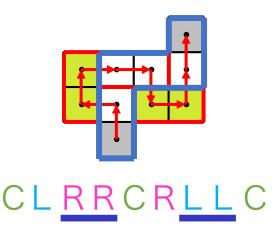






- ✓ 真っ直ぐに転がす → C
- ✓ 右向きに転がす → R
- ✓ 左向きに転がす→ L





下要なパスの除去

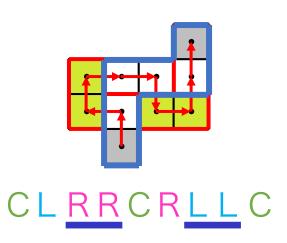


- 「1ステップ前から見たときの転がす方向」の情報を 回転展開に追加
 - ✓ 真っ直ぐに転がす → C
 - ✓ 右向きに転がす → R
 - ✓ 左向きに転がす→ L

CCRCL

補題 5

回転展開で得られるパスを文字列 で表すとき "RR" or "LL" が含まれる ならば、冗長な部分を含む、





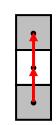
補題 5

回転展開で得られるパスを文字列で表すとき "RR" or "LL" が含まれるならば、冗長な部分を含む。

【証明の概略】 回転展開の2ステップ目で3つに場合分けをする







② CCのとき

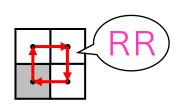


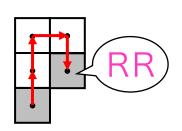


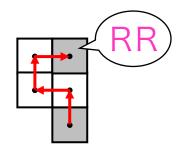
補題 5

回転展開で得られるパスを文字列で表すとき "RR" or "LL" が含まれるならば、冗長な部分を含む。

【証明の概略】 回転展開の2ステップ目で3つに場合分けをする







CRのとき

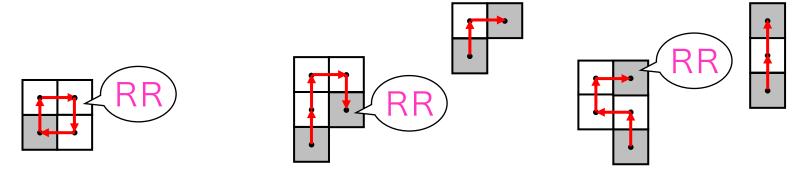
2 CCのとき



補題 5

回転展開で得られるパスを文字列で表すとき "RR" or "LL" が含まれるならば、冗長な部分を含む.

【証明の概略】 回転展開の2ステップ目で3つに場合分けをする



CRのとき

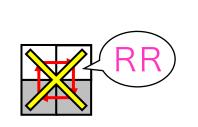
2 CCのとき



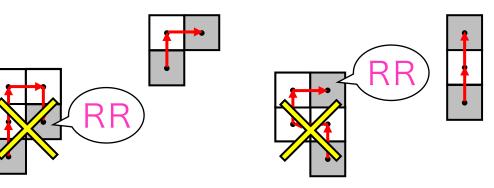
補題 5

回転展開で得られるパスを文字列で表すとき "RR" or "LL" が含まれるならば、冗長な部分を含む.

【証明の概略】 回転展開の2ステップ目で3つに場合分けをする





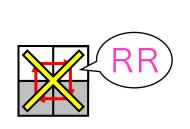


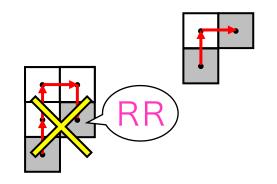


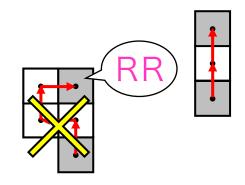
補題 5

回転展開で得られるパスを文字列で表すとき "RR" or "LL" が含まれるならば、冗長な部分を含む.

【証明の概略】 回転展開の2ステップ目で3つに場合分けをする







① CR のとき

2 CCのとき

③ C L のとき

文字列 "RR" が表れたら探索中止 🛑 求めたいパスのみを得る